THE JOURNAL OF JAPANESE ASSOCIATION OF DIALYSIS PHYSICIANS 日本透析医会雑誌 Vol. 31 No. 1 2016

人類に最大の利益を									_	川会長	鈴	木	正	可
b析医療における €	urrent	Top	ics 2	2015 (新潟	開催)〕	H27.1	0.4						
透析患者の血圧管理	埋———							春日	井市民	兴病院	渡	邊	有	三
透析アミロイドー:	シス一歴	史的	回雇	頁と今後	後の言	果題一								
				新	潟大学	学医歯学総	合研究	科/新	行渴薬科	·大学	下	條	文	武
対応に苦慮する血液	夜透析患	者と	の値	可き合い	1方-			L幌北	ニ クリニ	ニック	大	平	整	爾
腹膜透析の進む道-	—PD 過	去・	今・	未来一	-									
			一日釗	圖記念病	院腎も	センター (現・伊	丹腎	クリニ	ック)	伊	丹	儀	友
VA 機能不全に対す	·るPTA	法の	進步	まと 課題	<u> </u>									
				it	也田バ	スキュラー	-アクモ	2ス・	透析・	内科	池	田		潔
超長期透析患者の第	実態——						一信楽園	国病院	定腎セン	ター	鈴	木	正	司
	島田	久	基	宮	崎	滋	斎	藤	徳	子	森	岡	哲	夫
	五十月	嵐 宏	三	津	畑	豊	酒	井	信:	治	飯	Щ	由	紀
	山崎	節	子	佐	藤	淳 子	宮	本	千賀	子	小	西	健	_
			信	楽園病院	的属	有明診療所	折 湯	浅	保	子	高	橋	幸	雄
							Ш	巻	瑞	秞	±	田	和	主
							Щ	1	加	愢		Щ	小口	大
逐療制度・医療経済	ř 🌗						Ш	~E	1面 /	饱		Щ	ΤП	大
		/—ž		医療と	診療	報酬改定		Æ.	4而 /	思	П	Ш	ΤЦ	大
		/—ž	透析 [医療と	診療						武		正	
2025 年へのカウン	トダウン	∕—ž	透析图	医療と			国際医療	· 译福祉	上大学大	六学院		藤		樹
2025 年へのカウン サ高住」の現況と	トダウン	/—Ž	愛析	医療と		<u> </u>	国際医療	· 译福祉	上大学大	六学院	武	藤	正	樹
2025 年へのカウン 	トダウン課題							軽福祉	上大学大	r学院 3 札幌	武戸	藤	正	樹平
2025 年へのカウン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	トダウン 課題 における	報告			ェント	ラル腎クリ		軽福祉	上大学大	r学院 3 札幌	武戸	藤澤	正修	樹平
2025 年へのカウン サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害	トダウン 課題 における	報告	医療	事故調	マント 査報	ラル腎クリ		· ・ク 1 ・龍ヶ	上大学大 ・9・8 ・崎臨床	文学院 3 札幌 3 工学	武戸中	藤澤	正修	樹平
2025 年へのカウン サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害	トダウン 課題 における	報告透析日	医療	事故調透析医会	マント 査報	ラル腎クリ (告 [改言	一国際医療プリニックリニック 一版] 長会医	· ・ク 1 ・龍ヶ	上大学大 ・9・8 ・崎臨床	文学院 3. 札幌 天工学 音部会	武戸中篠	藤澤山	正修裕	樹平一雄
2025 年へのカウン サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害	トダウン 課題 における	報告透析に忠	医療日本男	事故調透析医经	マント 査報 医療 原	ラル腎クリ 告[改言安全対策委	一国際医療フリニックリニック 一関会員 戸	福祉 1 乗 澤 東 澤	上大学大 · 9·8 · 崎臨床 事故対策 修	文学院 京札幌 三工学 章部会	武戸 中 篠阿	藤澤 山 田部	正修裕俊	樹平 一 雄弥
2025 年へのカウン サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害	トダウン 課題 における	報告透析に忠	医療日本男	事故調透析医经	マント 査報 奈 原 戸	ラル腎クリ 告 [改言 安全対策委	一 国際医療リニック 丁 版]	「福祉」 「藤澤山」	上大学大 · 9·8 · 崎臨床 事故対策 修	文学院 北	武戸 中 篠阿土	藤澤 山 田部	正修裕俊貴	樹平 一 雄弥子
2025 年へのカウン サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害	トダウン 課題 における	報告透析に忠	医療日本男	事故調透析医经	マント 査報 奈 原 戸	ラル腎クリ 告[改言安全対策を 情治	一 国際医療リニック 丁 版]	福祉 1 乗 澤山 家	L大学大 ·9·8 ·崎臨床 事故対策 公	文学院 工学 音部 平 洋 彦	武戸 中 篠阿土政	藤澤 山 田部屋金	正修 裕 俊貴和	樹平 一 雄弥子人
2025 年へのカウン 「サ高住」の現況と 藤穿全対策 ● 茨城県の豪雨災害ん 平成 25 年度日本透	トダウン 課題 における	報告透析に忠	医療日本男	事故調透析医经	マント 査報 奈 原 戸	ラル腎クリ 告[改言安全対策を 情治	一 国際医療リニック 丁 版]	福祉 1 乗 澤山 家	上大学大 8 8 6 公 6 6 公 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	文学院 工学 音部 平 洋 彦	武戸 中 篠阿土政	藤澤 山 田部屋金	正修 裕 俊貴和生	樹平 一 雄弥子人
2025 年へのカウン 「サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害に 平成 25 年度日本透	トダウン課題にお医が無いない。これを会議を表現している。	報告 宏析 忠 忠	医療 男 行	事故調透析医经	マント 査報 奈 原 戸	ラル腎クリ 告[改言安全対策を 情治	一 国際医療リニック 丁 版]	福祉 1 乗 澤山 家	上大学大 8 8 6 公 6 6 公 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	文学院 工学 音部 平 洋 彦	武戸 中 篠阿土政	藤澤 山 田部屋金	正修 裕 俊貴和生	樹平 一 雄弥子人
2025 年へのカウン 「サ高住」の現況と 療安全対策 ○ 茨城県の豪雨災害に 平成 25 年度日本透	トダウン課題における流析医会派とという。とは、大学は、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	報告透析日忠忠	· 医療 本 男 行	事故調 透析医经 栗 宍 那	ことを 本本 ない おりま ない ない ない かい	ラル腎クリ 告[改言安全対策を 情治	一 の	福和 1	上大学大 8 6 分 修 公 敏 透 杯 不 透 水 透 木	学 机 工 部 平 洋 彦 医 会	武戸 中 篠阿土政山	藤澤 山 田部屋金	正修 裕 俊貴和生	樹平 一 雄弥子人雄
医療制度・医療経済 2025 年へのカウン 「サ高住」の現況と 医療安全対策 ● 茨城県の豪雨災害 ア成 25 年度日本透 「 態 調 査 ● 第 19 回透析医療費	トダウン課題における流析医会派とという。とは、大学は、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には、大学には	報告 忠 忠	医療 男 行 告 適	事故調 透析医经 栗 宍 那	こと 査 展 原 戸 類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ラル腎クリ 告 [改集] 告 [改集] 怜 治 他	一際リンプ長のアンプランの大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	福和 1	上大学大 8 6 分 修 公 敏 透 杯 不 透 水 透 木	学札 工 部平洋彦 医 事	武戸 中 篠阿土政山	藤澤 山 田部屋金崎	正修 裕 俊貴和生親	樹平 一 雄弥子人雄 洋
2025 年へのカウン 「サ高住」の現況と 療安全対策 ・ 茨城県の豪雨災害に 平成 25 年度日本透	トダランスのアンドランスを対しています。というでは、アンドランスを対しています。アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり。アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり、アンドランスをできまり。アンドランスをできまり、アンスをできまり、アンドランスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまり、アンスをできまりにはなりにはなりにはなりにはなりできまりにはなりできまりにはなりできまりにはなりできまりにはなりできまりにはなりではなりではなりできまりにはなりではなりできまりにはなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりではなりで	報告的思想	医療 本 男 行 告 適 郎	事故調 透析医经 栗 宍 那	ン・番を原戸類・・	ラル腎クリ 音 全対 怜 治 一 寛 修	一	福和 1	上大学大 8 8 6 9 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	学札 工 部 平洋 彦 医 事 雄院 幌 学 会 会	武戸 中 篠阿土政山 太隈	藤澤 山 田部屋金崎	正修 裕 俊貴和生親 圭	樹平 一 雄弥子人雄 洋政

長崎県における維持透析患者の終末期医療の実態―アンケート調査―				
長崎県透析医会研修委員会/長崎腎病院	1 原	田	孝 司	
同/前田医隆	克 前	田	兼 徳	
同/宮崎内科	自	崎	正信	104
福岡県における高齢透析患者の介護関連実態調査報告(第2報)				
―短期予後に関する調査 (2015年2月現在)―				
福岡県透析医会/村石循環器科・内科	斗 村	石	昭 彦	
同/高橋内科クリニック	7 下	池	英 明	
同/くまクリニック	限		博 政	
同/こもたクリニック	菰	田	哲 夫	
同/百武医图	名 百	武	宏幸	109
平成26年度 千葉県における透析医療機関の感染性廃棄物の現状に関す		ンケ	ート調	查
(第 10 報) 千葉県透析医会感染症委員会/浦安駅前クリニック	佐	藤	孝彦	
同/市川クリニック	7 田	島	知 行	
同/三愛記念病隊	~ 入	江	康 文	123
臨床と研究・				
静脈血栓症の診断と治療―最近の話題より―				
長崎大学循環器内科 池 田 聡 司	前	村	浩二	132
腎性貧血と低酸素誘導因子				
東京大学附属病院腎臓・内分泌内科 田 中 哲 洋	南	学	正 臣	140
維持透析患者の前立腺癌―頻度と診断・治療― ―――桃仁会病院泌尿器科	4 佐	藤	暢	146
維持血液透析患者の満足度調査:彼等は何を思い、何を感じて過ごして	いるの	りか		
	芦	П	美佐枝	152
高齢者と polypharmacy——聖路加国際病院薬剤部	ß JII	名	賢一郎	161
遺伝性腎疾患の臨床と遺伝カウンセリング				
東京慈恵会医科大学附属第三病院腎臓・高血圧内科	↓ 花	岡	一成	166
透析患者における下肢潰瘍・褥瘡の管理――――――――――――――――――――――――――――――――――――	4 佐	藤	智 也	174
公募研究助成 🌗				
***24 年度				
〈報告書〉				
維持血液透析患者の栄養調査で用いる推定式は食事摂取実量と一致する	か			
―陰膳法による食事実態調査から―				
一—————————————————————————————————————	横	路	三有紀	
奥 田 誠 也	深	水	圭	
久留米大学医学部付属病院栄養音	水 永	松	あゆ	181
****25 年度				
〈論文〉				
Personal health record システムを用いた災害時透析情報伝達方法に関す	る研究	笼		
京都大学大学院医学研究科腎臓内科与	卢西	岡	敬祐	
わたなべ湖西クリニック	" 渡	邊	裕	
独立行政法人国立病院機構京都医療センター	- 北	尚	有 喜	188
シャントトラブルに対する電気刺激療法の効果に関する研究				
池田病院血液浄化センターリハビリテーション	上	谷	耕平	

堀内正久 224

226

〈報告書〉

***26 年度 〈論 文〉

〈報告書〉

***27 年度

《静 岡》 リン制限はいつからはじめるべきか―基礎医学からの提言―

自治医科大学分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部 黒尾

《福 岡》 循環器内科治療の現状と変遷 一透析を含む腎不全に合併しやすい疾患に注目して一 - 浜の町病院循環器内科 臼 井 真 228 書 評 Factors in mental health problems among Japanese dialysis patients in heavily damaged prefectures two years after the great east Japan earthquake. 日本透析医会専務理事 篠 田 俊 雄 メディカル・エッセイ 晩秋そば談義―透析休憩室の窓辺にて― ― —東京女子医科大学名誉教授 杉野 信博 232 ● 透析医のひとりごと ● 高齢化社会における透析治療症例の果たす役割― ―大幸砂田橋クリニック 前 田 憲 志 234 喪失体験 東京女子医科大学名誉教授 阿岸 鉄 三 236 Long Slow Distance—故春木繁一先生を偲んで— 一戸田中央総合病院 東 間 紘 238 Merrill-the-physician and Merrill-the-man-国際医療福祉大学 寺 岡 慧 240 **し**た ょ () 長野県支部だより一 長野県透析医会庶務担当理事 鈴 木 都美雄 243 和歌山県支部だより―紀南地方の災害対応― -一和歌山透析医会副会長 柏井 利彦 247 長崎県支部だより一 -長崎県透析医会会長 原田 孝司 254 常任理事会だより一 -日本透析医会常務理事 山川 智之 255 編集後記一 - 広報委員 佐藤 壽伸 261

学会案内(H28.5月~8月) 257

投稿規定 260

お知らせ

平成 28 年度透析療法従事職員研修のお知らせ(公財)日本腎臓財団

腎臓移植施設資格基準に基づく資格更新予定のお知らせ(公社)日本臓器移植ネットワーク

〈会告〉日本透析医会通常総会のお知らせ(H28.5.15)

日本透析医会研修セミナー「透析医療における Current Topics 2016(東京開催)」(H28.5.15)

日本透析医会研修セミナー「透析医療における Current Topics 2016 (広島開催)」(H28.11.6)